

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児美術	演習	2	小林 伸雄 ・ 佐藤 有紀
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>子どものための大型遊具を通年で製作する。各自の個性や独自性を大切にし、創意工夫しながら物を作る楽しさや完成時の喜び、充実感を体験・体感することを目標とする。尚、各自の作品は学年末に42回幼児美術卒業制作展にて発表し、訪れた子どもたちと一緒に遊ぶ体験を通して作品制作を振り返る。</p>			
【授業の概要】			
<p>実習形式で行う。個人で使用する素材を選び、作品制作の計画を立て、個人で制作する。遊具・美術作品の調査・鑑賞の目的で学外授業を実施する。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス	16. 卒業制作展 ポスター制作		
2. 参考作品の鑑賞	17. 制作展 打ち合わせ		
3. 制作手順について 年間計画	18. 個人制作:素材に切断線をかきはじめる		
4. 道具について	19. 個人制作:切断線をかき終える		
5. 遊具見学	20. 個人制作:切断線に沿って切り始める		
6. 素材研究・プランニング	21. 個人制作:切断作業		
7. アイデアスケッチ	22. 個人制作:切断終了		
8. 試作品・模型制作	23. 個人制作:組み立て開始		
9. 素材研究・応用	24. 個人制作:組み立て作業		
10. 計画発表 ディスカッション	25. 個人制作:組み立て終了		
11. 製図開始	26. 個人制作:研磨作業		
12. 製図完成	27. 個人制作:塗装(下塗り)		
13. 素材調達	28. 個人制作:塗装(仕上げ)		
14. 計画発表	29. 制作展準備		
15. まとめ	30. 完成・発表		
(個人の制作内容により作業内容に変更場合があります。)			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:様々な子どもの遊具の調査			
学習のあり方:制作に対する積極的な姿勢と対外的な作品発表(制作展)に対する責任を持つ。			
復習のあり方:作品(遊具)で遊ぶ子どもと関わることで制作活動を振り返る。			
【成績評価】			
提出物(80%) 授業態度 (20%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
作品に対しての寸評によるアドバイスを行う。			
【テキスト】 特になし			
【参考文献】 授業時に紹介する。			